

千葉支社・河野「区長は問題ない」と発言。この蛮行を許すな！

四月四日、動労千葉の組合員に対し、出勤停止十五日を含む二四名の不当処分が出された。現場長に業務の説明や強制配転の理由の説明を求めただけで出勤停止になっている者もある。また、一年も前の警察権力でさえあまりの嘘に、手を出せなかった土屋粹・コロビ屋事件についても出勤停止にしている。しかも、その一方で、処分を下した幕張電車区木更津支社の鮎川区長は、本年一月二三日、走行中の運転室に酒に酔って乱入し、運転士に罵声を浴びせるといふ蛮行を働いた。にもかかわらず、「嚴重注意」にしかしていないのである。これが公正な処分なのか。JR東日本当局には一片の良識もないのか。

河野車務課長が「区長は問題ない」

われわれは、鮎川が走行中の列車の運転室に乱入したとき、泥酔状態であったことの一部始終をはっきりと把握しており、そのこと自体が許せないことであることは言うまでもない。

しかし、さらに問題なのは、この事実を突きつけられた千葉運行部・河野車務課長は、木更津の職場で、「区長は問題ない、酒を飲んでもよい、区長は仕事熱心だ、走行中時計を出していなかった運転士の方が問題だ」と言い切ったことである。日常的に乗務員が前夜出勤の時に酒気をおびていると出勤を認めないという「指導」をしておきながら、現場長が泥酔状態で走っている列車の運転台に乱入し、担当課長がそれを肯定し、激励するがとき発言を当該職場で公然とする異常さを、われわれは、はっきりと見すえなければならぬ。

動労千葉への組織破壊攻撃が最優先

河野車務課長は、この間、「木更津は管内でいちばん悪い」などとマトはずれなことを言い、職場の業務などはどうでもよいということを公然と打ち出して、動労千葉の組織破壊のみを追求してきた。

そして、「六三・三ダイヤ改」で、「一旦提案したものは、一言一句変えない」「Aダイヤ、Bダイヤ、作業ダイヤなどは提示する必要はない」とメチャクチャなダイヤ改を強行し、管内全職場の労働者から、怨嗟の的となっているのである。

そして、この河野は、木更津支部で、支部副委員長、書記長等、動労千葉の五名の役員・活動家を業務上のことなど一切考慮せず、売店等へ強制配転し、四名に対し、「区長に抗議した」ことを理由に「嚴重注意」の不当処分を強行するなど、労務政策Ⅱ動労千葉への組織破壊を最優先に、職場を破壊してきたのである。

木更津の職場では「四名が嚴重注意なら支区長はクビでなければおかしい」という怒りの声が渦まいている。

ストライキへ総決起しよう！

われわれは、「4・1一周年」のお祭りさわぎをかくれみのにしながら、JR当局が、いよいよ動労千葉根絶し攻撃に出してきたことを見すえなければならぬ。

不当処分、強制配転、動労千葉からの脱退強要攻撃がここまで来たら、労働者（労働組合）は、あらゆる制動をとりはらって決起しなければならぬ。

河野車務課長と動労革マルを先兵とする攻撃を粉碎し、労働条件を改善し、明るい職場をつくり組織強化・拡大をかちとるために、ストライキも含む、あらゆる戦術を駆使して闘いぬこう。

4・29

臨時大会に 総結集しよう

とき 四月二十九日 十時ヨリ
ところ 労仲者福祉センター

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

木更津区 鮎川泥酔し運転室に乱入

国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！